

～コンコード研修レポート～

町民代表 笹村 卓也

10月1日、いよいよ待ちに待った出発の日。はじめての海外ということでワクワクドキドキです。13時間の空の旅は予想をはるかに超える厳しいもので、180センチ80キロの身体は座席におさまらず大変でした。寝ようと思っても寝られず、完全に時間を持て余し、アメリカに着く前に疲れました。でも、アメリカに到着し外の景色を見たら、長旅の疲れは一瞬で吹っ飛びました。人や車、街並すべてがかっこよくて感動しました。渡会くんが入国審査でつかまってしまってかわいそうでしたが、渡会くんを待ってるあいだにふたつの初体験ができました。ひとつは、初めてドルを使って売店でジュースを買うことが出来ました。普段は普通にやっていることですが、アメリカ人の店員とのやりとりは緊張しました。もうひとつは、喫煙所でタバコをすっていたら黒人のおじいちゃんに『ハロー!!』とあいさつされて『ハロー!!』とあいさつをかえせたことです。あいさつをするというのは普通のことですが、アメリカ人相手だとやはり緊張します。このふたつの体験を着いてすぐできたことで、アメリカでの生活への自信が少しもてました。渡会くんに感謝です。そしてコンコードに着いてピザでおもてなしされました。アメリカに着いて最初の食事です。そのピザが、さすがアメリカって感じのデカさでした。みんな『ヤバい、ヤバい』と言いながら食べてました。アメリカンサイズ実感です。その夜、ホストファミリーのトムさんが映画に連れて行ってくれるということになり、トムさんの奥さんのダニエラさんもいっしょに車で隣町のケンブリッジの映画館へ行きました。コメディ映画ということで楽しみにしてたんですが、当然字幕はでるはずもないので全く内容がわからず最終的に睡魔に負けて寝てしまいました。ダニエラさんは大爆笑してました。家に帰ってきたのは夜12時頃、この初日のハードスケジュールはいい思い出です。トムさんはラズベリー農園を営んでいて、お客さんが自分で摘み取ったのを量り売りしたり、自家製ラズベリーソースをつくり直売所やスーパーマーケットに出したりしていました。ラズベリーの出荷についていき、いろんな農園を見学させていただきました。見学した農園のほとんどが無農薬でやっていました。ラズベリーをお客さんが摘み取るように、ジャガイモやトウモロコシをお客さんが自分で収穫して買っていくというシステムが



あるようで、人件費がかからないやりかたということでした。自分も農業をやっ

ているので、参考になることがいくつかありいい勉強になりました。七飯とコンコードは気候が似ているということで、作っている作物もほとんど同じでした。トマトとトウモロコシを食べましたが、日本のものの方がおいしいとおもいました。トウモロコシは甘みが少なく、トムさんはバターをぬって塩をかけて食べてました。コンコードの人たちに日本の野菜をたべてもらいたい、たべさせたいとおもいました。



トムさんはとても優しく明るい人で、コンコードでの生活をすごい楽しいものにしてくれました。ロブスターや鹿肉のステーキ、鹿肉のハンバーガーなどたくさんの美味しい料理で毎日もてなしてくれました。トムさんは日本語が話せないなので、会話は全て英語。最初はネイティブの発音が聞き取れず苦労しましたが、だんだん聞き取れるようになり、ジェスチャーをまじえながらなんとかコミュニケーションがとれました。自分の英語が通じたときは感動しました。前から英語を話せるようになりたいという思いがありましたが、この研修でその思いがよりいっそう増しました。英語を話せるようになってまた行きたいです。何倍も楽しくなるとおもいます。!!!!!!!!!!!!!!

アメリカでのたくさんの経験は、すべてがいい刺激になりました。本当にこの研修に参加できてよかったです。ありがとうございました。